



日本共産党港区議会議員

# 星野たかし

## 区政報告

No.98  
2005年  
5月

日本共産党港区議団

港区芝公園1-5-25

TEL(3578)2945 FAX(3578)2947

《連絡先》3449-1202 (星野自宅)

[HP]http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

[Eメール]hosino@jcp-minatokugidan.gr.jp

# 港区にこんなに頑張っている人たちがいる 市民パワー交流集会開く

日本共産党  
港区議団

様々な住民運動に関わっておられる港区民の方々の活動を交流しようとして、二月に「市民のパワーを交流する集い」を港区勤労福祉会館で開催しました。当日は十人の方から多彩な発言があり、時間いっぱい発言や質問が行われ、熱気あふれる集会となりました。



「市民のパワーを交流する集い」

小学校廃校に対し、

初めは与党にお願いしたが、なんとも頼りにならないことがわかった。運動を通じて行政や議員の理不尽さも感じたが、そうしたことを許さない市民の日常的な関心や監視も必要ではないか。

都市型水害の被害を受けた方の運動

永く住んでいて水害などなかったが、五年前に

深さ一四〇cmの水害にみ

まわれ、どうしてよいかわからなかったとき、日本共産党の方から「陳情書を出せばいい」と教えられ提出した。議会でも質疑が行われ、運動を通じて、緊急対策事業として雨水を貯める管が今春完成する。そのことは嬉しいが、行政のペースは遅いと感じる。

住民からのまちづくりの運動

突然に再開発計画が動き出そうとした時、月一回五名の学習会から始まった運動が、会員三百名以上の会となつている。介護、防災などのテーマで継続的に学習会も行い、関心に応え、地域でのコミュニケーションを深めるような取り組みをしている。

変額保険の被害を受けた方の運動

同じ被害者とともに、銀行と十四年間たたかう中で、国会でも取り上げてもらい、〇・一%の勝訴判決しかない裁判でも大手銀行・大手生保の理不尽なやり方に勝つつもりでやって裁判で勝った。現在は全国各地の被害者支援に奔走している。

平和を求めるスタンディングを続けている方

新宿西口で平和への思いを伝えるプラカードを掲げ、自分たちの出来る時に立っている。反応は様々だが、当初拒否を示した方も



ムレスの方が募金してくれるようになるなど、共感広がるものだし、自分の意思表示が大事だと感じている。

ワンルームマンション建設に対する運動

近隣住民が住環境やプライバシー保護問題などで業者と交渉し、区や議会へも陳情。工事車両の進入に対する座り込みもやる中で、業者と管理協定書を締結した。この運動は、港区にワンルームマンションの建築及び管理に関する条例を制定させる大きな力になった。

地下鉄駅にエレベーター・エスカレーターを設置を求める運動

駅の周辺町会も含めた運動となり、議会で請願は通ったが、なかなか実現しない。四年間繰り返し



発言するくばた光前都議

し交渉を重ねる中で、よもたたかかってきた。そううやく一部実現へ。さらに完全に実現するまでねばり強く頑張つてゆく。高すぎる固定資産税を改めさせる運動

集団で不服審査の運動を行うとともに、裁判で

(続きは裏面をお読み下さい)

## 住宅耐震 無料診断(木造) 改修助成(木造) 共同住宅診断支援拡充(非木造)

最近の大震災でも家屋の倒壊が犠牲者や被害をさらに大きくしています。日本共産党区議団は、機会ある毎に耐震事業の充実をもとめてきました。区の新たな耐震事業が始まります。

### 港区の新たな耐震事業

木造住宅の無料耐震診断：昭和五十六年五月三十一日以前に建築確認した区内の木造専用住宅。二階建て以下で、自己が所有し、所有者が居住していること。

木造住宅耐震改修工事費助成：昭和五十六年五月三十一日以前に建築確認した区内の木造専用住宅。二階建て以下で、自己が所有し、所有者が居住していること。耐震診断で耐震改修が必要な建築物。大規模共同住宅の耐震診断の支援拡充：「港区建築物耐震診断助成要綱」による、非木造の共同住宅の助成限度額を一五〇万円から二〇〇万円に引き上げる。

【日本共産党議団は、耐震事業の充実を更に進めるため全力をあげます。皆さんのご意見をお寄せ下さい】

なんでも相談会

5月25日(水)、6月20日(月)午後7時より 白金福祉会館・集会室  
弁護士・区議が対応いたします。 連絡先...星野自宅TEL:3449-1202 区議会控室TEL:3578-2945

# 都市型水害から住民を守る 白金台地区 雨水貯留管が完成!!

地表がコンクリートで覆われるようになり、深刻になって  
いる都市型水害。住民を守る対策の一つが、雨水を一時的に  
貯める雨水貯留管です。住民の要求と日本共産党の取り組み  
によって、三月に白金台地区で工事が完成しました。

## 浸水被害を

## 大幅に緩和

## 都下水道局が

## 重点地区に指定

集中豪雨による都市での水害が全国的に起こり、「都市型水害」として認知をされるようになりつつあった一九九九年。その八月末に東京都心港区でも時間最大雨量一五〇という記録的な集中豪雨が発生し、区内二級河川の古川が溢水(いっすい)し、床上浸水百九十一世帯、床下浸水七百四十一世帯、地下浸水三十五棟という大きな被害になりました。

その直後の九月の都議会本会議で日本共産党のくぼた光都議(当時)は、いち早く都市型水害対策や雨水流出抑制型都市づくりを実施するよう知事に迫りました。



建設中の貯留管を視察する、くぼた光前都議(=03年6月30日)

翌年の三月には、東京都下水道局が二十三区内の緊急重点雨水対策を策定し、二十五の重点地区のうち港区内では南麻布・白金台地区が指定されました。その後重点地区は三十七地区へと増え、区内では新たに赤坂と高輪地区が追加されています。

このうち白金台地区では、住民からの陳情などもあっていち早く道路下への五千五百二十九立方メートルの流下貯留管(将来は下水管の枝線として使用されるが、それまでは下水幹線との接続部を細くして流量を減らし、雨水をためる管として暫定的に利用する)が計画されました。

二〇〇一年春から始まった工事は、この三月末にすべて完成しました。これによって、これまでの規模の集中豪雨であれば被害は大幅に緩和されることになり、さらに完成までの緊急対応として学校の敷地を借りて仮設貯留池が設置されてきました。住民とともにくぼた前都議は、この三年間毎年、貯留管工事が部分完成するたびに下水

道局に要請して、貯留管の暫定利用を段階的に実現させてきました。これは、この間の水害被害の緩和に役立ちました。

また、南麻布地区でも古川に沿って貯留管をつくる計画が具体化されつつあります。

一方、港区議会でも港区議団が積極的に水害対策を追求して港区全域で、雨水浸透ます、道路横断溝などの設置や透水性舗装など都と区の連携で数々の対策工事を実施させてきました。

都市型水害の特徴の一つとして、くぼた地形付近の一、二件が被害を受けるだけで大きな問題にならない場合もあることから、「しんぶん赤旗」の集金や党活動の訪問時などに寄せられた情報をもとに、くぼた前都議や地元区議が個々に交渉の窓口となって対策を前進させてきました。

## まちづくりを

## 住民本位に

都市型水害は、都市再開発などによるヒートアイランド現象や地表をコンクリートなどで覆ってしまうことに原因があり、こうしたまちづくりのあり方が根本的に問われています。

## 「明治通り」下、

## 「古川」下にも

## 雨水貯留管を早急に

### 前ページからの続き

### 大気汚染をなくす運動

ディーゼル規制しても区内多くのところで環境基準を上回る汚染状況。測定をもっと多くの人にやってもらい、体験を通じて運動を広めたい。

### 小中学校へのエアコン設置を求める運動

署名を集めるなどの行動をする中で、誰かがやってくれるだろうではダメで行動することの大切さを実感した。

また発言の中では「地元こんな風に頑張っている人たちがいることを知って本当にこの点からも、くぼた事務所と党区議団は、まちづくり交流会をこの間二回開催するなど、多彩なまちづくり運動を展開し

うれしい。再開発の問題が起きたらこの人に、水害が起きたらあの人に相談に行けばいい。そういう自分たちの地図をつくるのが出来た」「ことうした住民運動の交流の場を定期的に設けてほしい」との声も出されました。

### くぼた前都議も発言

最後にくぼた光前都議が「この間、様々な住民運動に関わっている中で、政治を動かしている市民の素晴らしい力を相互に交流できればと感じていた。今日の集会は、そうした市民のつながりが政治を大きく変えてゆく一歩になると思う」とまとめの発言を行いました。

この間二回開催するなど、多彩なまちづくり運動を展開し、くぼた前都議も発言

## 白金台4・白金2丁目付近「雨水整備クイツクプラン」完成説明会が開催されます

日時 六月十三日(月)

午後二時から

場所 白金台福祉会館

一階B会議室

### 説明会の内容

工事概要などの説明

施行場所と貯留館内の見学

(貯留管内の見学は、雨天及び雨天が予想される場合は中止)

### 連絡先

下水道南部建設事務所

工事第一課工事第三係

(3747)6063

